

令和8年度 年間授業計画

教科：芸術 科目：音楽Ⅱ 単位数：2

対象学年：第2学年

使用教材	教科書：	MOUSA 2（教育芸術社）
	補助教材：	教員作成プリント

教科（芸術）の目標

【知識及び技能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目（音楽Ⅱ）の目標

【知識及び技能】	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などの関わり及び音楽の多様性などについて理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			歌唱	楽器	創作						
1 学 期	単元	歌詞の内容をイメージして歌おう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能					
		・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方の技能を身に付ける	発声法、歌詞				・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解している ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方の技能を身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現					
	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	ハナミズキ等				音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫している	○	○	○		8
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度					
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示				主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる					
	単元	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項				知識・技能					
		・曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりについて理解する ・曲にふさわしい奏法、体の使い方の技能を身に付ける	アルトリコーダーの奏法				・曲想とリコーダー及びギターの音色や奏法との関わりについて理解している ・曲にふさわしい奏法、体の使い方、他社との調和を意識して演奏するなどの技能を身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現					
	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	教師作成プリント			○	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫している	○	○	○		6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度						
主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示				主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる						
単元	表現を工夫してリコーダーを演奏しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。					
知識及び技能	指導事項				知識・技能						
	・曲想とリコーダーの音色や奏法との関わりについて理解する ・曲にふさわしい奏法、体の使い方の技能を身に付ける	アルトリコーダーの奏法				・曲想とリコーダー及びギターの音色や奏法との関わりについて理解している ・曲にふさわしい奏法、体の使い方、他社との調和を意識して演奏するなどの技能を身に付けている					
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現						
音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する	教師作成プリント			○	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら表現を工夫している	○	○	○		8	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度						
主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	模範演奏の提示				主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる						
単元	様々な時代・地域・ジャンルの音楽に親しもう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。				次の観点別評価規準に従い評価する。					
知識及び技能	指導事項				知識・技能						
	・曲想や表現上の効果と音楽の構造の関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化との関わりについて理解する	鑑賞				・曲想や表現上の効果と音楽の構造の関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化との関わりについて理解している					
思考力、判断力、表現力等	教材				思考・判断・表現						
音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする	名曲DVD			○	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感受しながら曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている	○	○	○		3	
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面				主体的に学習に取り組む態度						
主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	映像資料の提示				主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる						

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
		歌唱	器楽	創作						
単元 様々な時代・地域・ジャンルの音楽に親しもう 知識及び技能 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造の関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化との関わりについて理解する 思考力、判断力、表現力等 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知識し、それらの働きを感受しながら曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする 学びに向かう力、人間性等 主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 指導事項 鑑賞 教材 名曲DVD 一人1台端末の活用場面 映像資料の提示				○	次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 ・曲想や表現上の効果と音楽の構造の関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の文化との関わりについて理解している 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知識し、それらの働きを感受しながら曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる	○	○	○	3
単元 ギターでコード伴奏を演奏しよう 知識及び技能 ・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解する ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身に付ける 思考力、判断力、表現力等 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する 学びに向かう力、人間性等 主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 指導事項 ギターコード奏 教材 カントリーロード等 一人1台端末の活用場面 模範演奏の提示			○		次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 ・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解する ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身に付けている 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫している 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる	○	○	○	8
単元 ギターでコード伴奏を演奏しよう 知識及び技能 0 思考力、判断力、表現力等 0 学びに向かう力、人間性等 0 主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 指導事項 ギターコード奏 教材 カントリーロード等 一人1台端末の活用場面 模範演奏の提示			○		次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 0 思考・判断・表現 0 主体的に学習に取り組む態度 0	○	○	○	6
単元 アンサンブルを奏しもう 知識及び技能 ・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解する ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能を身に付ける 思考力、判断力、表現力等 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫する 学びに向かう力、人間性等 主体的・協働的に粘り強く活動に取り組む	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 指導事項 ギターとリコーダーのアンサンブル 教材 教師作成プリント 一人1台端末の活用場面 模範演奏の提示			○		次の観点別評価規準に従い評価する。 知識・技能 ・曲想とギターの音色や奏法との関わりについて理解している ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている 思考・判断・表現 音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知識し、それらの働きを感受しながら表現を工夫している 主体的に学習に取り組む態度 主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる	○	○	○	8

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	記号時数
			歌唱	器楽	創作						
3 学 期	単元 アンサンブルを楽しもう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	0	ギターとリコーダーのアンサンブル					0				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	0	教師作成プリント		○			0	○	○	○	6
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	0	模範演奏の提示					0				
	単元 リコーダーで旋律を創作しよう	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
		創作 ・曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解する ・曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける ・他者との調和を意識して歌う技能を身に付ける					・曲想やギターとリコーダーの音色や奏法との関わりについて理解している ・曲にふさわしい奏法、体の使い方などの技能、及び他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
		音色、リズム、歌詞、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感じながら表現を工夫しようとしている	教師作成プリント			○	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式などを知覚し、それらの働きを感じながら表現を工夫している	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度					
	主体的・協働的に粘り強く活動に取り組もうとしている	音楽制作ソフト				主体的・協働的に粘り強く活動に取り組んでいる					
合計											
70											